岡山天体物理観測所の現況

2012-08-07

泉浦秀行

国立天文台岡山天体物理観測所

＋

今田明、浮田信治、沖田喜一、神戸栄治、黒田大介、
小矢野久、坂本彰弘、清水康広、筒井寛典、戸田博之、
福井暁彦、柳沢顕史（五十音順、赤字は岡山UM初登場）

人の動き（H23年8月以降）

- 新規加入
  - 福井暁彦（10月：外部資金雇用研究員採用）
  - 筒井寛典（2月：研究支援員採用）
  - 浮田信治（4月：光赤外研究部から移籍）
- 異動・職種変更（H23年8月以降）
  - 清水康広（4月：特定技術職員➔研究支援員）
  - 小矢野久（4月：研究技師➔主任研究技師）
  - 福井暁彦（4月：外部資金雇用研究員➔プロジェクト枠研究員）
  - 今田　明（4月：一般枠研究員➔外部資金雇用研究員）
- 事務係長交代（4月）
  - 難波義人➔ 佐藤隆史（昇任）

現職員：19名＋1名　（　研究教育職3、研究技術職：3、特任助教 1、専門研究職員1、研究員2、研究支援員3、事務係長1、事務支援員3、業務支援員2、派遣職員1　）

平成24年度予算

・平成24年度は昨年度に比べ、長期的運用経費で約500万円の減額（全台的事情）。

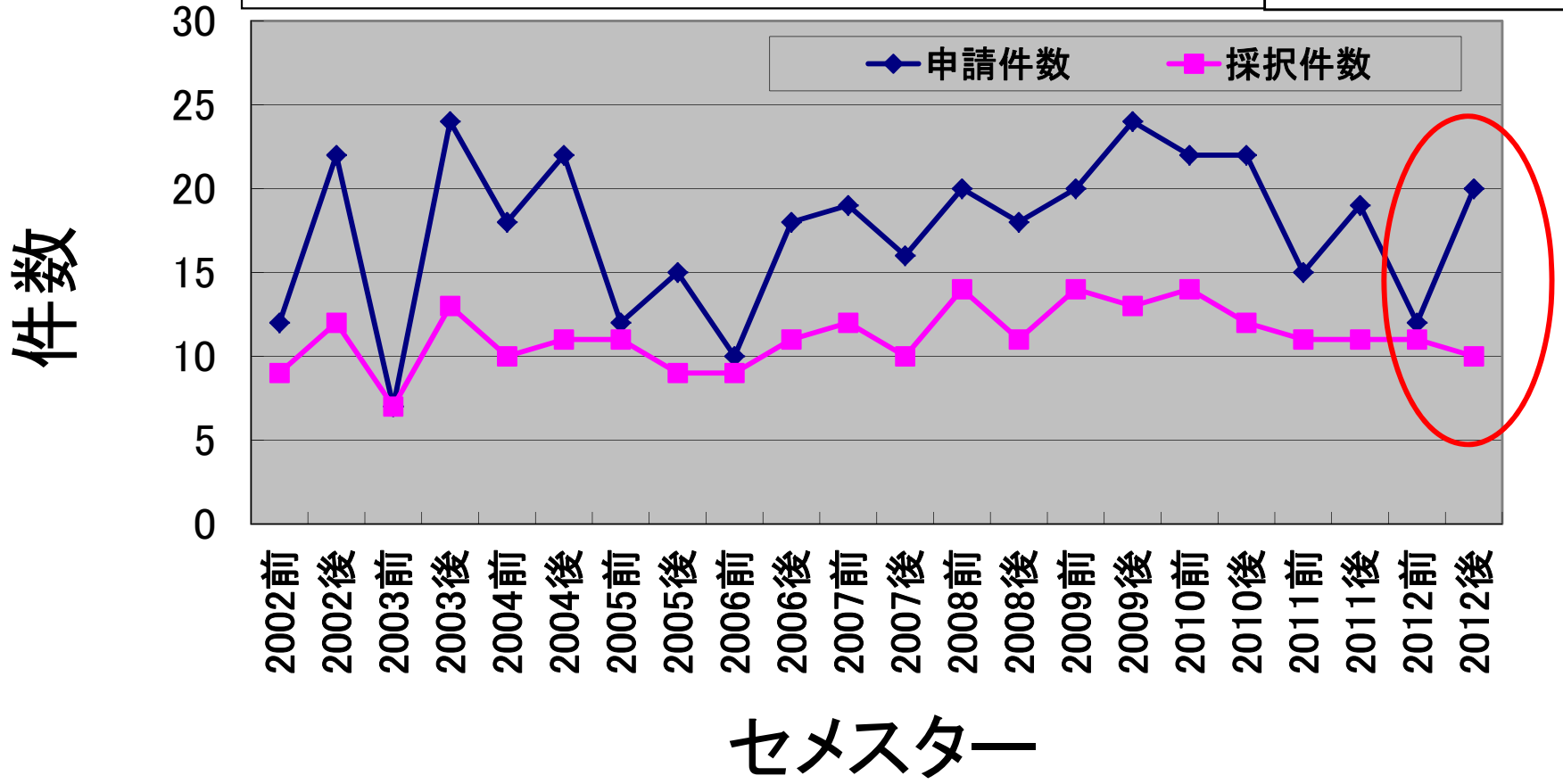
・人件費を除き、今年度限定の短期的経費も含めた平成24年度の運用経費の台内当初配分額はおよそ6700万円。

・光学赤外線大学間連携事業予算
・科研費基盤A　2910万
・総額では昨年度を上回る

共同利用申請件数と採択件数

競争率～1.5倍（平均）

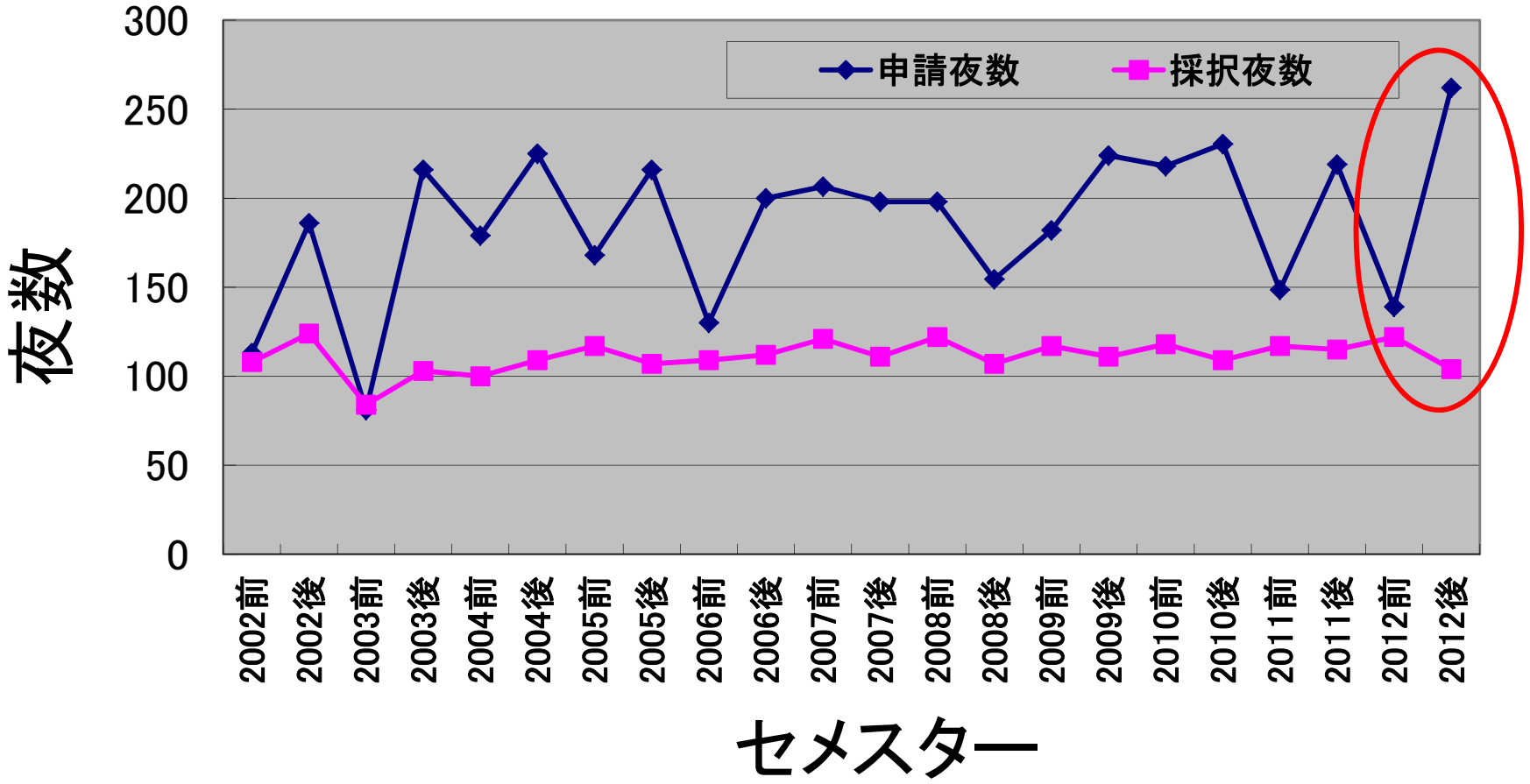
前期に～1倍となりやすい傾向



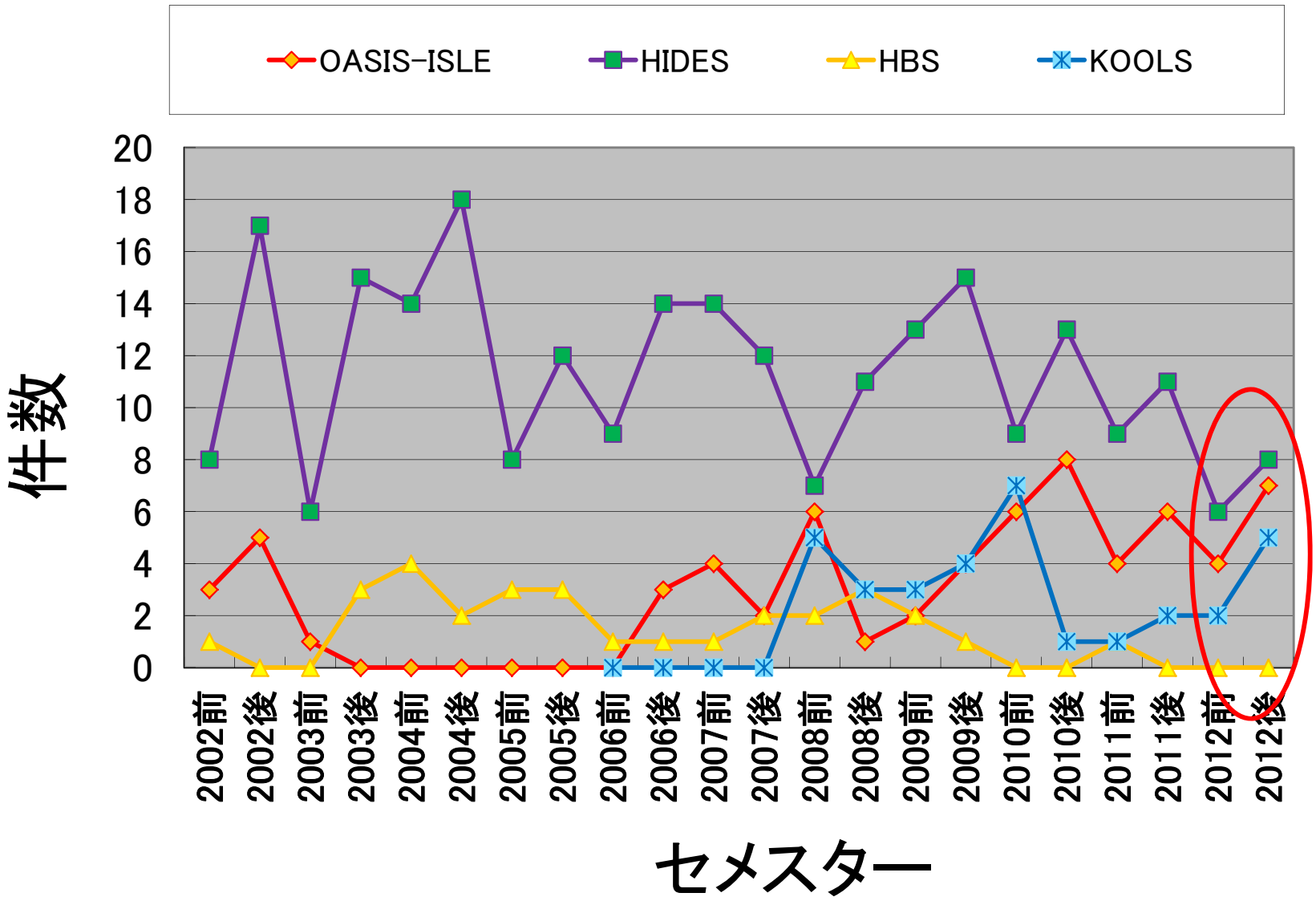
共同利用申請夜数と採択夜数

夜数競争率～1.8倍（平均）

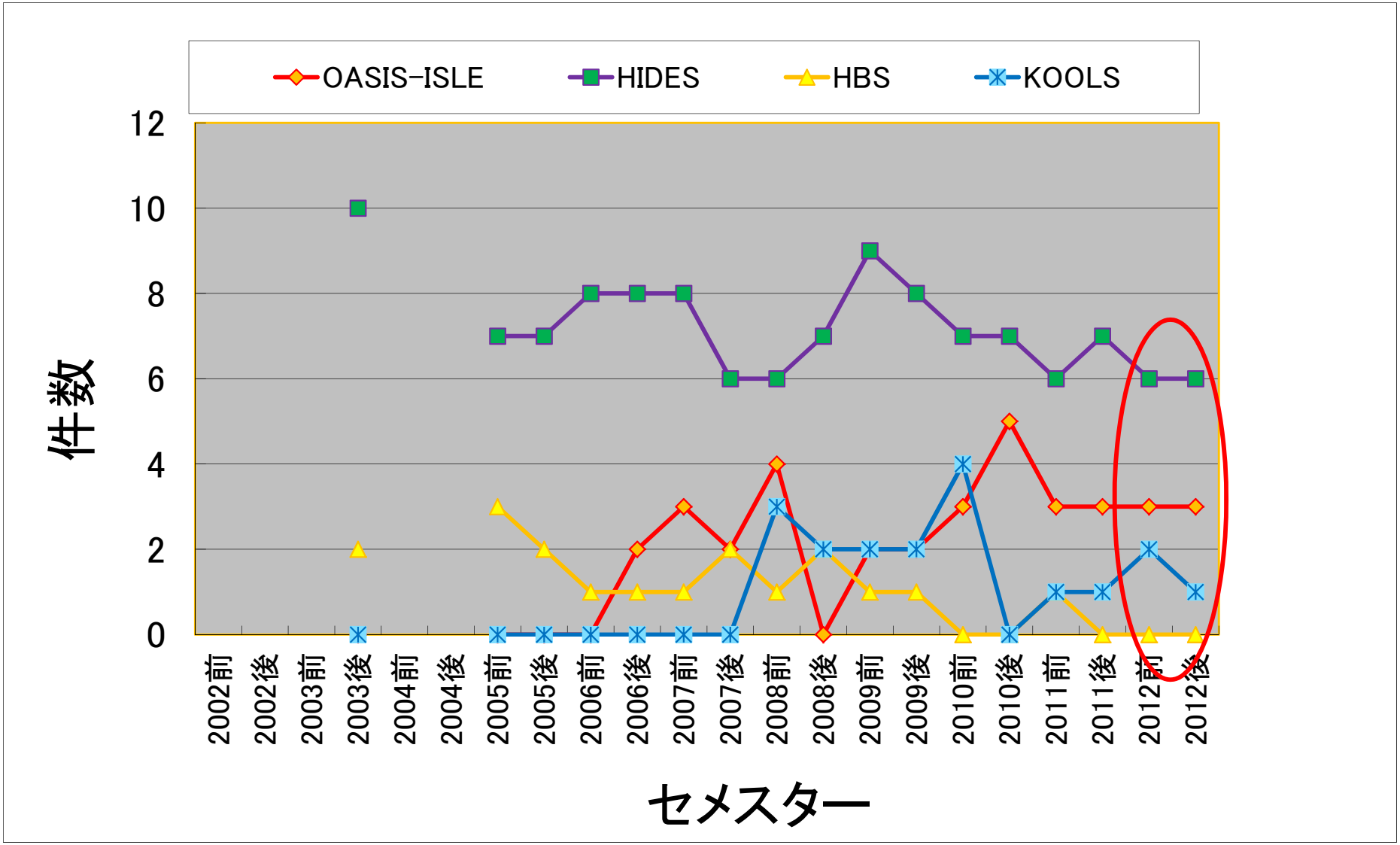
前期に低い傾向



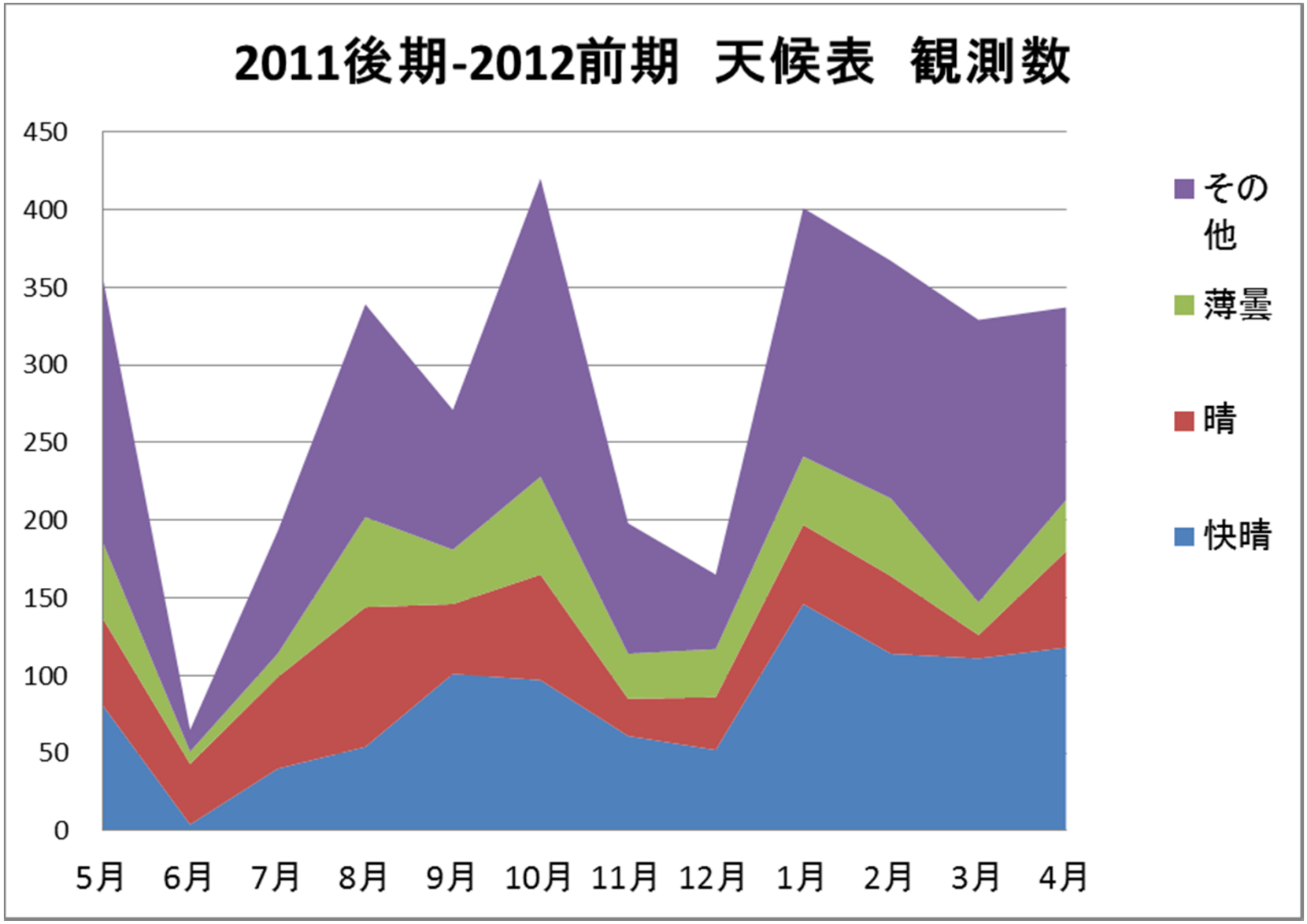
装置別申請件数


OASIS-ISLE
HIDES
HBS
KOOLS
件数
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
2002前
2002後
2003前
2003後
2004前
2004後
2005前
2005後
2006前
2006後
2007前
2007後
2008前
2008後
2009前
2009後
2010前
2010後
2011前
2011後
2012前
2012後
セメスター

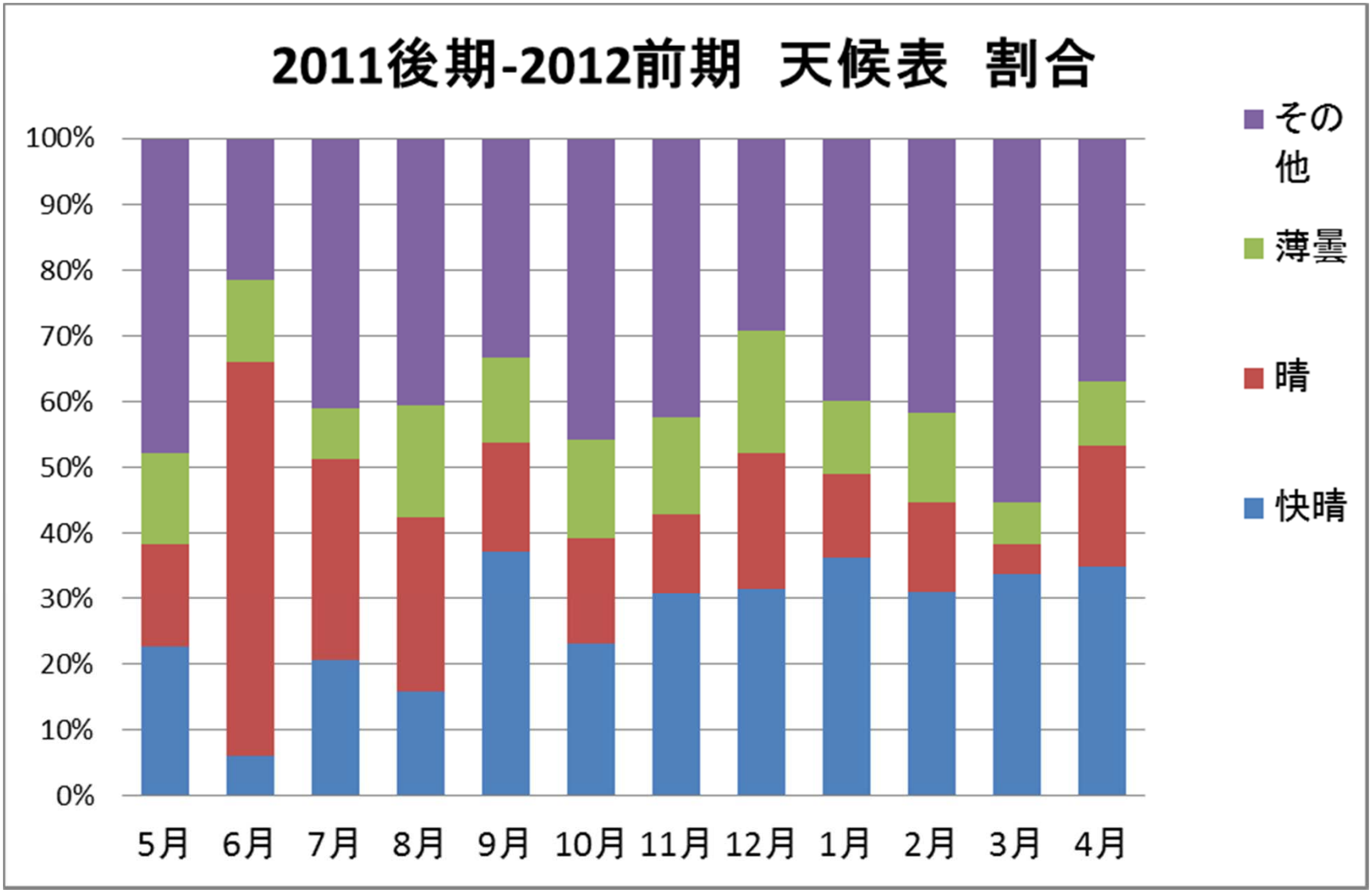
装置別採択件数


OASIS-ISLE
HIDES
HBS
KOOLS
件数
12
10
8
6
4
2
0
2002前
2002後
2003前
2003後
2004前
2004後
2005前
2005後
2006前
2006後
2007前
2007後
2008前
2008後
2009前
2009後
2010前
2010後
2011前
2011後
2012前
2012後
セメスター

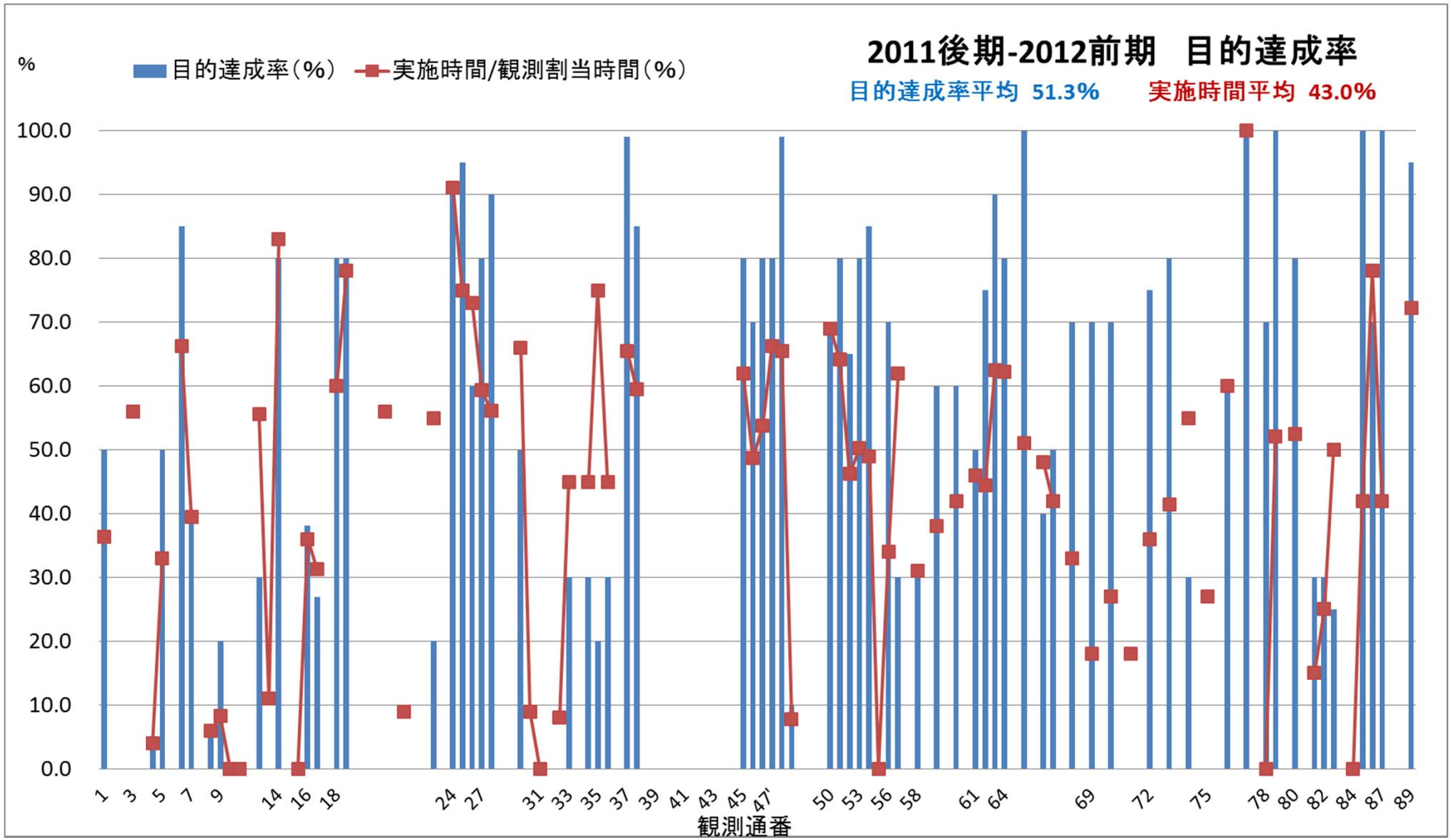
夜間天候（時間数）


2011後期-2012前期　天候表　観測数
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
4月
その他
薄曇
晴
快晴

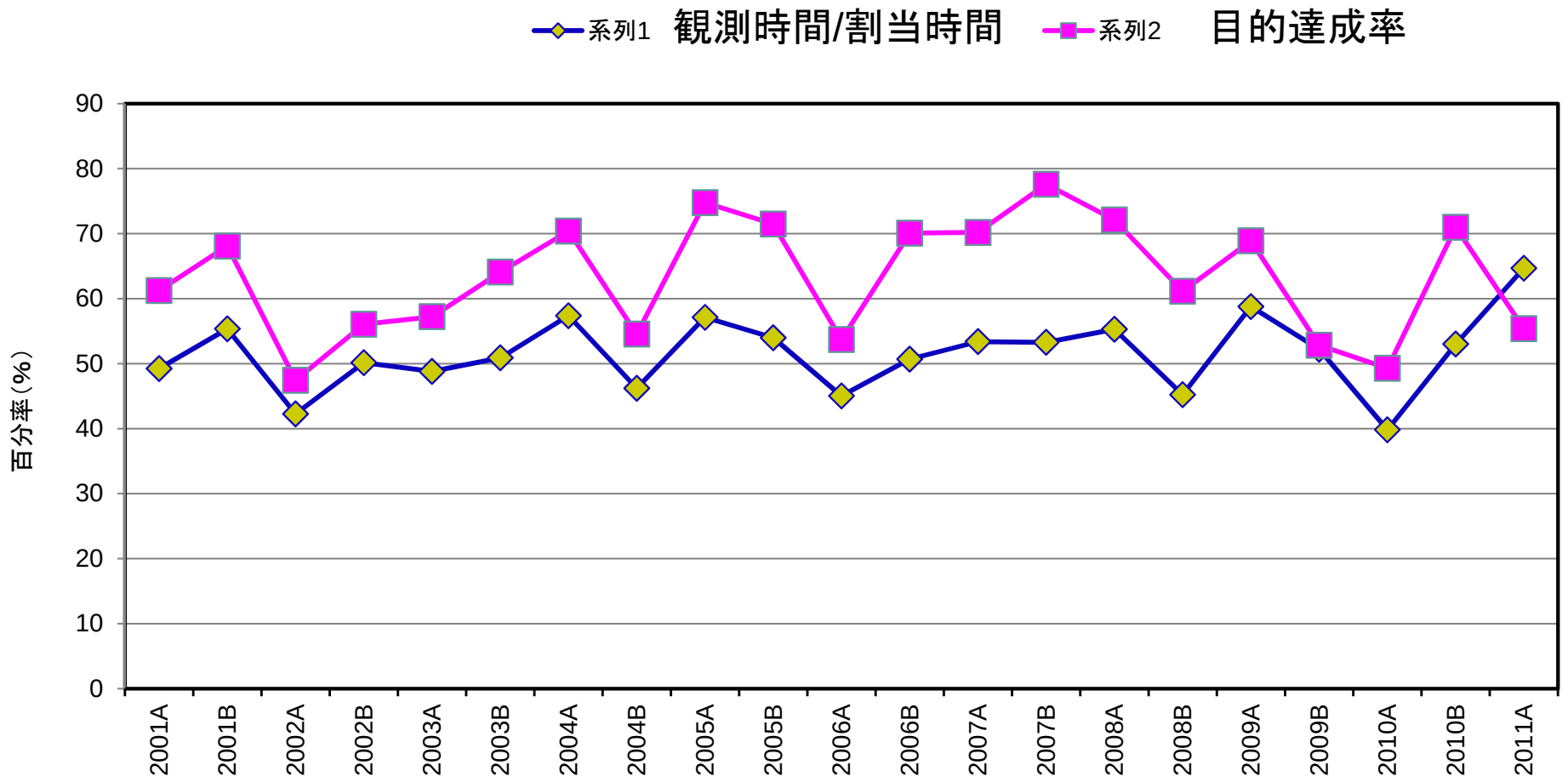
夜間天候（割合）


2011後期-2012前期　天候表　割合
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
4月
その他
薄曇
晴
快晴

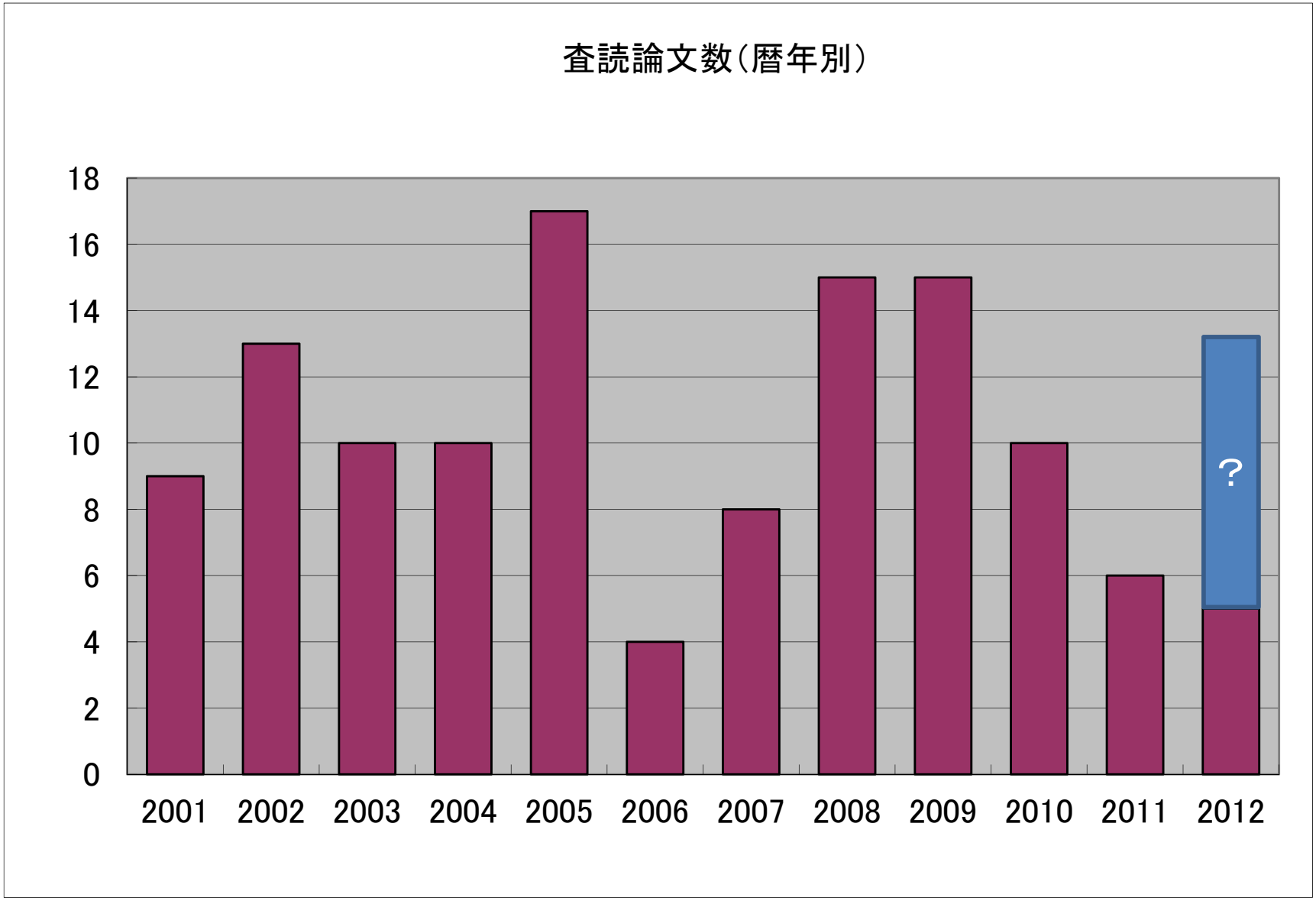
目的達成率


2011後期-2012前期　目的達成率
目的達成率平均 51.3%
実施時間平均 43.0%
%
目的達成率（%）
実施時間/観測割当時間（%）
100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
1 3 5 7 9 14 16 18 24 27 31 33 35 37 39 41 43 45 47 50 53 56 58 61 64 69 72 75 78 80 82 84 87 89
観測通番

過去の目的達成率の変化



共同利用成果(暦年)


査読論文数(暦年別)
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
?

2011年9月以降の188cm望遠鏡ドームの保守状況

by 神戸栄治（OAO/NAOJ）

主な工事

- スリットワイヤー巻上機軸受部の補強　2011.9
- ブラインドの復旧工事　2012.2
- 上下扉ガイドレールのメンテナンス　2012.2, 2012.6
- 見学室の天井交換　2011.9
- 雨漏り対応・対策
  - ガラリ塞ぎ　2011.9, 2012.6
  - 巻上機床周辺部等ドレイン工事　2011.8～11
  - 歩廊、内壁側面コーキング　2012.2
- 歩廊手摺補強工事　2012.2
- 各部の塗装　2012.2～3

- 188cm望遠鏡ドーム電源調査　2012.3
- キュービクル、耐雷トランス容量アップ　2012.3

ブラインド（ウィンドスクリーン）の落下事故と復旧作業

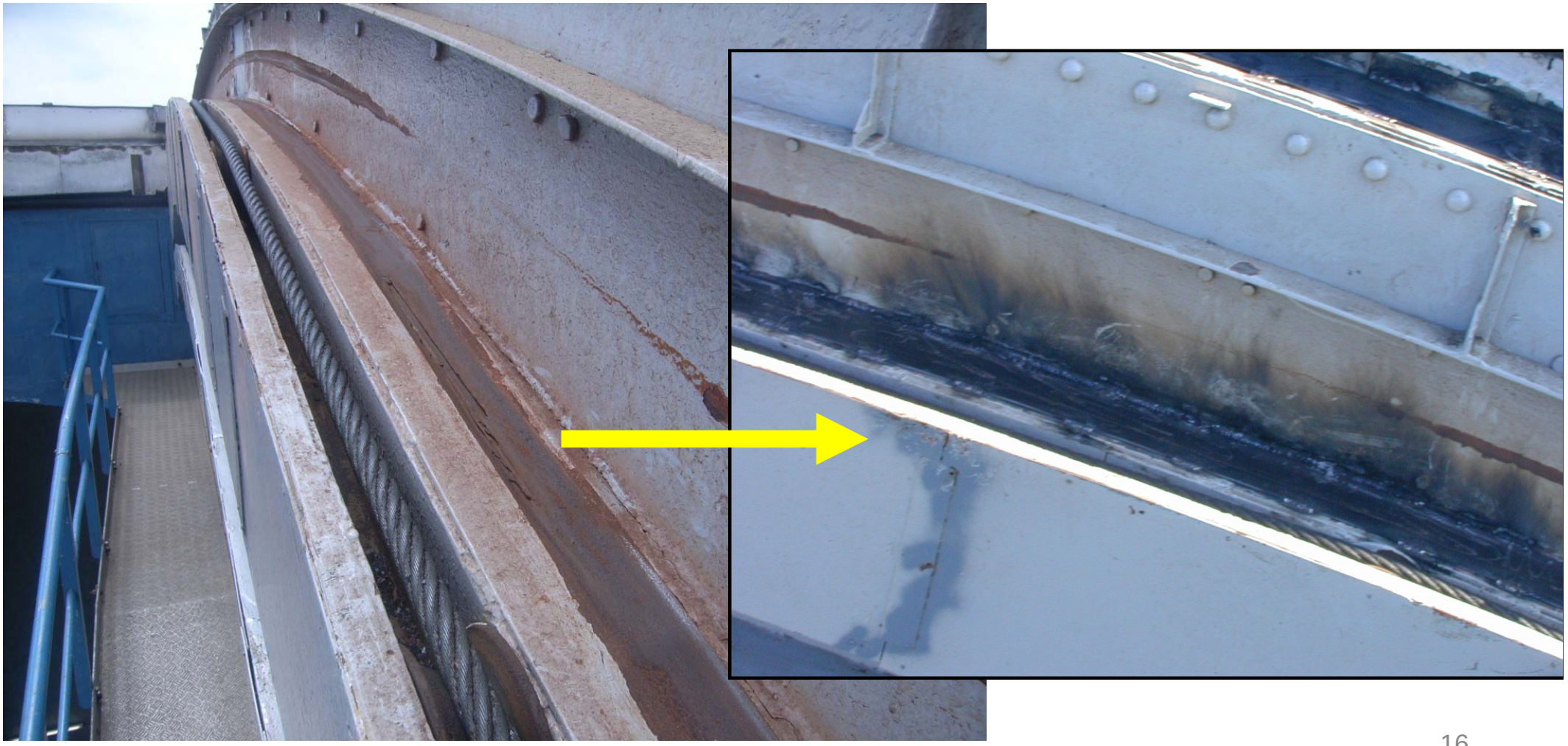
- 2011.12.24朝、観測者がブラインドを上昇中に、ガイドレールからブラインドが外れ落下。ワイヤーがドーム内に垂れ下がる
- この日は、とりあえず垂れたワイヤーを外し、観測できるようにする

- 復旧工事（2011.2.15～17；他工事含む）
  25tクレーンで吊ったりしながら、アームをレールに戻す
  アームの曲がりの修正
  ブランドヒンジの補修とグリース塗布
  ワイヤーロープの新替
  落下原因の推測（特定）と改修
  格納部レールの修正

上下扉ガイドレールのメンテナンス

概要：2011.6にスリットガイドレールの補修作業(3t板貼り付け)を行ったが、急速に変形・割れが生じている部分（格納部入口）があるため、その部のメンテナンスをしている

2011.6



キュービクル、耐雷トランス容量アップ

夏に動力電源が落ちていたので

キュービクル：50kVA➔100kVA
耐雷トランス: 30kVA ➔ 60kVA
ただし主ブレーカーは35kVA（175A）のまま

今後の工事他予定

- スリットワイヤー交換工事 2012.9.5～9.12
- ドーム制御系の更新 2012.1～2012.3

91cm望遠鏡（WFC）（by台長留め置き金）

共同利用係からのお願い

- 岡山観測所webページのビジターズガイドをよく読んでください。初めて来る方は勿論、よく観測所に来られる方も細かい変更点もありますので、是非一度見直してください。
- 共同利用対応係　柳澤
- ビジターズガイドに書かれていますが、論文を発表した場合に別刷りを送って頂くのは従来通りですが、岡山での成果に基づいて、学会発表、記者発表等を行う場合にも是非観測所にお知らせください。